



2020年9月15日

各 位

会社名 株式会社銚子丸
 代表者名 代表取締役社長 石田 満
 (JASDAQ・コード3075)
 問合せ先 取締役管理本部長 仁科 善生
 電 話 043-350-1266

2021年5月期業績予想に関するお知らせ

当社は、2020年6月29日付にて公表した2020年5月期決算短信において未定としておりました、2021年5月期(2020年5月16日～2021年5月15日)の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2021年5月期第2四半期累計期間業績予想(2020年5月16日～2020年11月15日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	8,602	247	265	108	7円93銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年5月期第2四半期)	9,714	252	287	145	10円64銭

(2) 2021年5月期通期業績予想(2020年5月16日～2021年5月15日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益又は 当期純損失(△)	1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	17,807	306	329	149	10円93銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年5月期)	18,076	71	139	△93	△6円83銭

2. 公表の理由

2021年5月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期が不確実であり、業績回復の時期や程度は明確でなかったことから、新型コロナウイルス感染症が当社の経営成績に与える影響額を合理的に算出することが困難であったため未定としておりました。

2021年5月期第1四半期累計期間の実績が確定し、新型コロナウイルス感染症拡大の短期的な影響をある程度予想できる環境になったと判断されることから、現時点で入手可能な情報等に基づいて算定した業績予想を公表いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響については、新型コロナウイルス感染症が収束しない中で、感染を回避するためお客様の生活様式や外食に期待するサービス内容が激変しております。従来型の収益モデルが大きな転換点を迎えており、このような構造的な変化を前提として今回の業績を予想しております。

売上高は、2021年5月期第1四半期累計期間の実績が前年同期の9割弱であったことから、これを基準として第2四半期以降の売上予測を見直し、新型コロナウイルス感染症拡大前の売上高の9割程度で推移すると想定いたしました。

一方で収益は、全社的に一層のコスト削減に取り組むことに加え、アフター・コロナの時代を見据えた新時代の収益モデルへの移行を積極的に推進することで、前期の第4四半期会計期間の売上急減の結果計上した多額の損失を通年ベースでカバーし、通期では増益を予想しております。

なお、本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断および仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合があります。

以 上